

令和5年4月10日

保護者様

京都市立松尾中学校
校長 林 秀雄

学校における内科健康診断について

学校園における内科健康診断は、学校生活を送るに当たり病気が潜んでいないか確認するため、これまでから上半身脱衣での受診を基本とするとともに、プライバシーの保護や心情への配慮のための工夫等も行いながら実施してまいりました。

今年度につきましても、安心して検診を受けることができるよう、引き続き配慮を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、個別に配慮が必要な場合や、ご相談・ご不明な点等がございましたら、事前に学校までご連絡ください。

1 上半身脱衣で行う理由

- ① 聴診は聴診器を皮膚に直接あてて行いますが、衣服や下着の上からでは、皮膚と衣服等がこすれる音の影響や、心音を聴くポイントに聴診器を当てられず、先天性心疾患や弁膜症等で聴かれる心雑音や喘息などの呼吸音を十分に聴診できず、呼吸器系の病気を見逃してしまう可能性があります。
- ② 視診では、皮膚（アトピー性皮膚炎、皮膚腫瘍）や甲状腺の病気（バセドウ病、甲状腺腫）、骨格の変形（脊柱側弯症、頸椎後弯、胸郭変形など）の有無も診ています。特に脊柱検査は必須の検査項目で、衣服の上からの診察は不正確になります。
- ③ 思春期早発症（ホルモンの関係等で通常より早く思春期が始まる病気）の早期発見にも、上半身脱衣での視診が有効です。

2 プライバシーの保護や心情面への配慮について

本校では、児童・生徒のプライバシーへの配慮として、

- ① 性別等を考慮し、別々に検診を行う。
- ② 脱衣の際や診察時には、周囲から見えないよう、衝立やカーテン等により個別のスペースを確保する。
- ③ 聴診・視診の直前まで脱いだ衣服等で胸部を隠すなど、不必要な露出を避ける。
など、性別を問わずきめ細かい対応を行っています。

引き続き、児童・生徒たちの心情面にも配慮し、聴診・視診時に胸部を隠す工夫等を行いながら、対応してまいります。

- ・ 聴診器をあてる際は脱衣を基本としますが、希望がある場合は、ラップタオル等を持参の上、胸部を隠した状態で検診を受けることも可能です。（裏面下部をご参照ください）
- ・ その場合、聴診や脊柱検査の際に診やすいように、必要に応じて学校医または養護教諭が衣服をまくる、ずらす等の検診補助を行うことがあります。
- ・ 脊柱検査については、背骨や肩甲骨が見える状態で視診する必要がありますので、シャツやスポーツブラ、キャミソール等、背面が隠れる面積の多い下着等の着用は避けていただきます。

内科検診では、 こんなことを調べます

健康診断

心臓や肺、気管支に
異常がないかを調べます



聴診器を胸にあてて、
心臓や呼吸の音を聞きます

貧血ではないかを
調べます



下まぶたをめくります

胸の骨や背骨の形に
異常はないかを調べます



胸や背中をみます

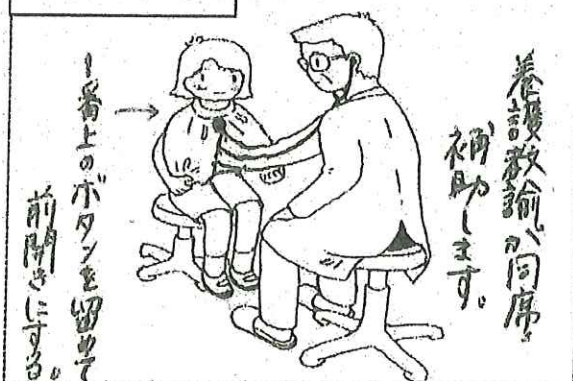
栄養状態や皮膚の病気が
ないかを調べます



皮膚をさわります

ラップタオルを使用する際の受け方

前面を診る際



背面を診る際

